

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 大阪府立能勢高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒563-0122
大阪府豊能郡能勢町上田尻580

E-mail : nose-hs@sbox.pref.osaka.lg.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/nose

児童生徒数：男子 93名 女子 61名 合計 154名
 児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（SGHの活動、持続発展教育、グリーンツーリズム、ユネスコスクールコーディネイター会議の定期的出席）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は平成27年度、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定され、様々な活動を行っている。それらの活動はユネスコスクールのESD活動と重なっているため、本校のESDの強化につながっている。

I. マレーシア修学旅行・姉妹校との相互交流

- ・マレーシア修学旅行の準備として、アスンタ高校（姉妹校）生徒、教員とのメールのやり取り（情報交換、異文化理解）
- ・マレーシア 姉妹校アスンタ高校 初来校、SGHプレゼンテーション、歓迎交流会、文化交流
- ・マレーシア修学旅行でのアスンタ高校での1日交流

II. 留学生（受入れと派遣）

(受入れ)

- 1) AFS 長期留学生（受入れ学年は2年次生）
中国 17歳 女子 平成28年4月1日～平成29年2月4日受入れ
- 2) AFS 秋季短期留学生 インドネシア、ハンガリー（受入れ学年は1年次生）

- ・町民ボランティア複数による日本語指導。町民によるホームステイ受入れ
- ・能勢小学校、能勢中学校での国際交流授業に派遣。地域での交流活動に参加

(派遣)

- 1年生女子 コスタリカへ長期留学（AFS）
平成28年2月19日～平成29年1月11日
- ・SGH研究発表会にて留学体験のプレゼンテーション
 - ・町内小中高教員への留学体験発表

III. 学年・生徒会・ユネスコクラブの共同活動

- 1) 6月、熊本地震の被災者に対する救援のために校内でココアの販売を行い、売上金を日本赤十字を通して寄付した。
- 2) フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのモンゴル図書館活動への支援として、校内で本を集めた。8月にモンゴル海外実態調査でウランバートル バヤンズルフ区第92学校を訪れ、集めた本を直接現地学校の図書館スタッフに手渡した。
- 3) 昨年文化祭で大阪大学モンゴル研究室と共同で行った物品販売の収益金を、8月実施のモンゴル海外実態調査（ウランバートルを訪問）で現地NGOに直接手渡した。
- 4) 10月の文化祭で、オイスカと共同で物品販売を行い、収益金を海外植林活動に寄付した。
- 5) 東日本大震災復興支援プロジェクト「能勢米百俵」事業で能勢ライオンズクラブと共同で岩手県大槌町を訪れ、能勢米を仮設住宅に配った。生徒8名、留学生3名が参加。また、陸前高田市を訪問、復興状況を見学し、地域祭りに参加した。能勢米は田植えから稲刈りまで生徒が中心となって行った。

IV. S G Hの取組みによるE S D活動

①スーパーグローバル（S G）基礎知識講座

以下のような大学・団体・N G O・機関の講師による講座を行った。

- 1年次生（産業社会と人間・農業と環境・コミュニケーション英語Ⅰで実施）
元青年海外協力隊、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会、オイスカ関西研修センター、大阪大学、立命館大学、公立鳥取環境大学、青年海外協力協会、
- 2年次生（総合的な学習の時間・世界史・社会福祉基礎で実施）
元青年海外協力隊、箕面市国際交流協会、サラヤ株式会社、大阪教育大学、E C C国際外語専門学校）、
- 3年次生（総合的な学習の時間・社会福祉基礎で実施）
立命館大学、ごきげん企画楽笑屋

②スーパーグローバル（S G）重点分野講座

以下のような大学・団体・N G O・機関の講師による講座を行った。

- 1年次生（夏季休業中・放課後・土曜日等講習で実施）
大阪国際大学、箕面市立多文化交流センター
- 2年次生（(学校設定科目) スーパーグローバルスタディ（S G S）・土曜日講習会等で実施）
大阪大学、公益社団法人国際農林業協働協会（J A I C A F）、総務省 地域再生マネージャー、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、能勢町教育魅力化コーディネーター、Cheers Inc.、株式会社 マザーハウス、ユニセフ、エスペーロ能勢
- 3年次生：放課後演習等
トリガーワークス、能勢さとやま創造館

③海外実態調査

平成28年8月6日（土）から12日（金）にかけて、S G 重点分野講座を選択する2年次生11名が、モンゴルを訪問した。モンゴル国立大学ワークショップと併せて、養蜂をテーマに課題研究を行った。

④海外からの留学生とのワークショップ

- ・外国人への観光ガイド（京都平安神宮にて）
- ・公立鳥取環境大学訪問。環境教育の講座に参加。英語村にて研修
- ・外国人への観光ガイド（奈良東大寺にて）
- ・観月会 インドネシア伝統音楽ガムラン演奏に参加
- ・在大阪モンゴル国総領事館を訪問、課題研究発表
- ・アジア留学生のインバウンドモニターツアーで英語案内（能勢町 けやきの里にて）
- ・在大阪モンゴル国総領事館主催「2016 草原の風 モンゴル祭」に参加、課題研究のポスターセッション
- ・箕面市国際交流協会を訪問、ボルネオ保全トラスト ジャパンの会員による講義、在住外国人との交流
- ・菊炭体験・里山保全フィールドワーク（菊炭の里 能勢さとやま創造館にて）参加

⑤報道された本校S G Hの取組みによるE S D活動（添付資料）

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（文化祭、マレーシア修学旅行、SGH校外研修、マレーシア海外実態調査）

)